

【目次】

1. 日本労働会館理事会を開催、3月25日！
2. 講演会「安部磯雄と現代」を5月26日に開催へ！
3. 連載「日本労働会館物語」第55回（日本労働会館に結集した人々―村井知至その1―）

1. 日本労働会館第4回理事会を開催、3月25日！

一般財団法人日本労働会館（友愛労働歴史館と労使関係研究協会の運営母体）は3月25日、友愛労働歴史館研修室において2014年度第4回理事会を開催しました。

理事会は、2014年度事業報告として①友愛労働歴史館関連、②労使関係研究協会関連、③ホテル三田会館関連、④2014年度決算予測、⑤2014年度公益目的支出計画などについて、それぞれ報告を受け、確認しました。また、2015年度事業計画について①友愛労働歴史館、②労使関係研究協会、③ホテル三田会館、④2015年度収支予算について、提案通りに承認しました。理事会はこの後、5月15日に日本労働会館監事会（監査）を、5月22日に同第5回理事会を、そして6月5日に日本労働会館第1回評議員会を開催することを確認し、閉会しました。

2. 講演会「安部磯雄と現代」を5月26日に開催へ！

友愛労働歴史館は来る2015年5月26日（火）、公開講演会「安部磯雄と現代」を開催します。これは開催中の企画展「日本野球の父、日本社会主義運動の父・安部磯雄」と連動させたものです。



安部磯雄は、統一基督教弘道会（ユニテリアン教会）会長として鈴木文治の友愛会創立を支え、「日本労働運動の恩人」とされています。また、明治34年の社会民主党や大正15年の社会民衆党の創立を主導したことにより、「日本社会主義運動の父」としても知られています。さらに安部は、早稲田大学野球部長として日本野球の発展に貢献し、「学生野球の父」「日本野球の父」としても知られています。東京ドームにある野球殿堂博物館には、野球殿堂入り第一号の安部磯雄の肖像レリーフが飾られています。

今回の講演会では講師（報告者）に元尚美学園大学教授で友愛労働歴史館研究員の梅澤昇平氏を招き、「安部磯雄と現代」というテーマで、キリスト者として生きた安部磯雄の多彩な生涯についてお話しをいただきます。参加申し込みはEメールか☎で、友愛労働歴史館までお願いいたします。

＜講演会「安部磯雄と現代」・2015.05.26＞

- 1.と き：2015年05月26日（火）14：00～16：00
- 2.ところ：友愛労働歴史館・研修室
- 3.テーマ：「安部磯雄と現代」
- 4.報告者：梅澤 昇平 元尚美学園大学教授・友愛労働歴史館研究員

3.連載「日本労働会館物語」第55回

＜日本労働会館に結集した人々―村井知至その1―＞



今回の「日本労働会館に結集した人々」は、牧師、ユニテリアン教会説教師、キリスト教社会主義者、英語学者として知られる村井知至（1861～1944）です。村井知至は、安部磯雄や岸本能武太とともに同志社英学校で学び、ともにユニテリアン教会で活躍した盟友です（「同志社の三幅対」と呼ばれた）。

村井知至は明治17（1884）年、同志社英学校を卒業し、その後、今治教会の横井時雄の下で働いています。明治22（1889）年に渡米し、アンドーヴァー神学校に留学。帰国後に本郷教会で働きますが、再渡米し、アイオワ大で社会学を学んでいます。明治30（1897）年に帰国し、日本ユニテリアン協会に加入し、説教者となります。また、この頃、『六合雑誌』に多くの評論を発表。翌明治31年、労働組合期成会評議員に就任しています。



村井知至の名前が社会主義運動史に記録されるのは、①彼が明治32（1899）年に日本で最初の本格的理論書『社会主義』を刊行したこと、②同年、安部磯雄らと社会主義研究会を結成し、会長に就任したことです。

社会主義研究会（後の社会主義協会）は、明治31（1898）年10月、ユニテリアン教会・惟一館でユニテリアンの安部磯雄と村井知至が、社会主義の研究を目的にした我国最初の研究会の設立を協議したことに始まります。同10月18日、社会主義研究会（会長・村井知至、幹事・豊崎善之助）が結成されます。会員はユニテリアン教会の安部磯雄、岸本能武太、村井知至の他、片山潜や佐治実然ら9名。幸徳秋水は第2回例会からの会員で、創立メンバーではありません。

社会主義研究会は研究会を積み重ね、村井知至も第6回例会で「カール・マルクスの社会主義」について報告を行っています。社会主義研究会は明治33（1900）年1月、第12回例会で社会主義協会と改称し、安部磯雄が会長に就任します。創立メンバーは安部磯雄、河上清、片山潜、村井知至ら11名と、その後に入会した中村大八郎・西川光二郎、木下尚江ら。社会主義協会は明治34（1901）年に日本最初の社会主義政党・社会民主党に発展しますが、同党は結党禁止となっています。

今日、社会主義研究会は、友愛会（ユニテリアン教会職員の鈴木文治が大正元年に結成した中央労働団体）と共に「ユニテリアン・ミッションのひとつ」とされます。それは社会主義研究会も友愛会も共にユニテリアンが結成を主導し、共にユニテリアン教会で誕生したからです。



村井知至は明治32年、東京外国語学校教授に就任し、英語学者として活躍。次第にキリスト教や社会主義から離れていき、「日本的回帰」をしたとされます。

村井は能や俳句を好み、蛙人と号していました。英語学者らしく喜寿の折の書（右写真は村井知至の掛軸の一部）には、日本語と英語で揮毫しています。

「人間の尊厳、進歩と発達のために」



発行：友愛労働歴史館 責任者：徳田 孝蔵 担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12 友愛会館 8F TEL050-3473-5325

Eメール yuairedorekishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuairedorekishikan.com>

惟一館から121年、友愛会から103年